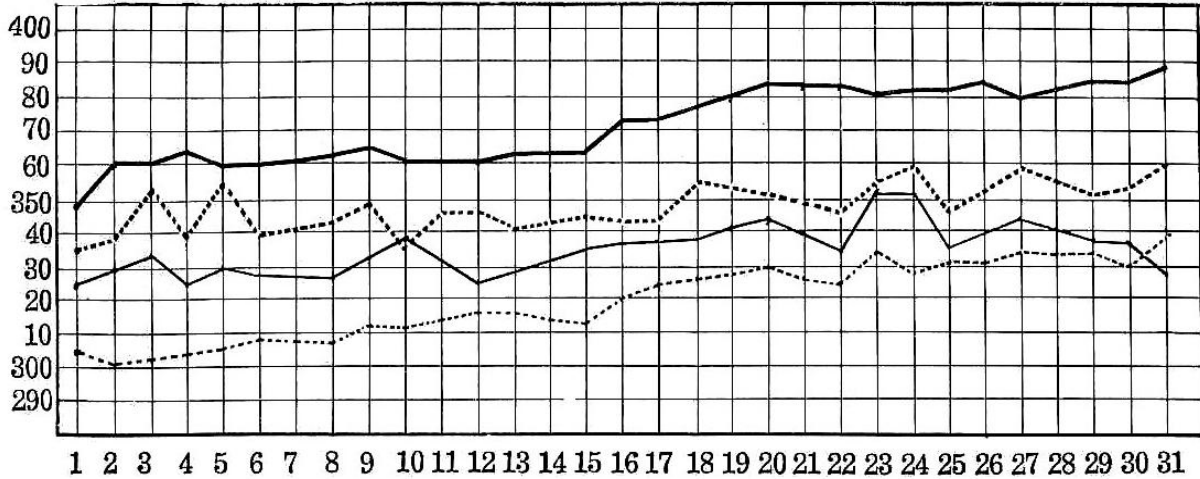


肉畜市況月報

(35年8月)

大阪経済事務所

凡例
 ———— めす
 ———— ぬき
 - - - - - おす
 ———— 豚
 } 中値(大阪市食肉卸売市場)



共同出荷実績	団体名	頭数	平均単価	枝肉量(kg)	売上金額			摘要	
					枝肉	原皮	内ぞう計		
共同 出 荷 実 績	県畜連	ぬき 12	309	2,997.2	925,300	60,000	47,955	1,033,255	大阪 中央畜産KK
		めす 5	356	921.0	327,430	25,000	14,736	367,166	
		豚 9	388	576.8	223,620	—	4,610	228,230	
	高陽農協	〃 29	358	1,726.5	617,760	—	13,800	631,560	〃
	津川	〃 9	374	649.3	242,800	—	5,190	247,990	〃
	豊国	〃 10	382	606.8	231,570	—	4,850	236,420	〃
	経済連	〃 8	377	431.0	162,393	—	3,448	165,841	徳島ハムKK
	美作畜協	めす 7	322	1,114.7	359,140	35,000	18,949	413,089	大阪畜産KK
豚 23		375	1,307.5	490,760	—	10,460	501,220	〃	
総養豚組合	〃 24	357	1,319.5	471,700	—	10,556	482,256	〃	

平均物 価格 (kg)	35年8月		34年8月		と畜 (大阪 市と 場)	牛	4,480
	めす	348円	310円	仔牛		508	
	ぬき	335	269	豚		6,297	
	おす	319	252	馬		106	
	豚	371	291	めん羊		52	

概況

8月の入荷は7月より豚で700頭の増であったが、牛は増減なしであった。相場は牛、豚共に連日上げ歩調をとって新高値を告げるにいたった。即ちめすの中物で月間平均kg 348円で前年同期より36円高、ぬき同じく335円で66円高、おす同じく319

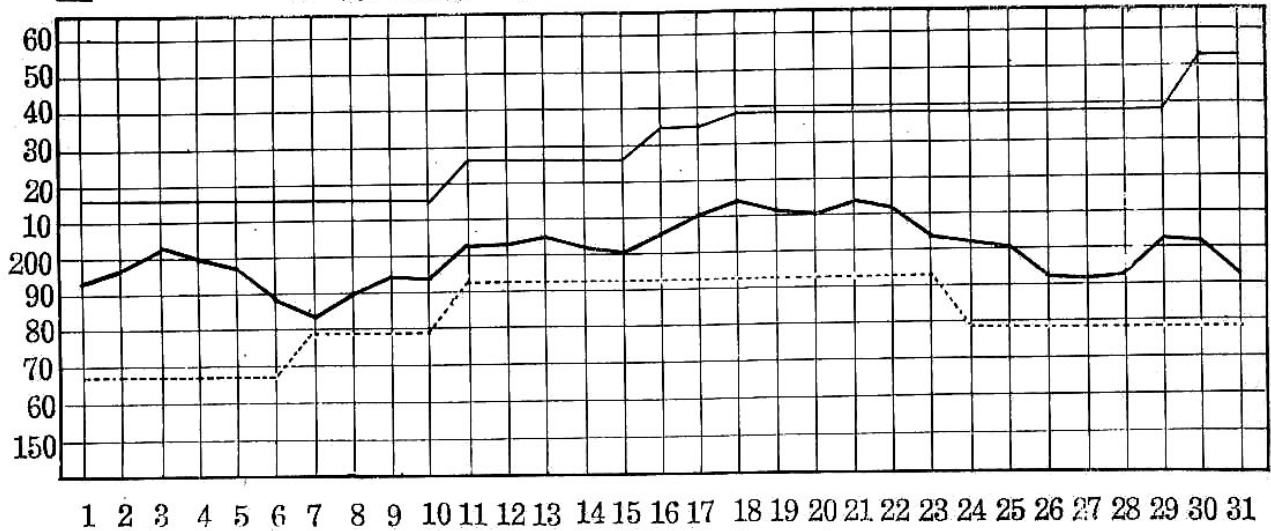
円で67円高、豚同じく371円で80円高と7月より更に水準を上げて来た。豚は昨年秋の最高値365円に達すると、忽ち急ピッチで記録は上昇し、月末には終りに390円の新高値をつけた。全く牛、豚共に行きつくところを知らぬ高騰で最近又々小売相場の値上げで一般消費は相当後退するとみられるが、業務用需要にはたいしてひびかぬものと云われるので、相場の基調はくずれそうもない。

鶏卵鶏肉市況月報

(35年8月)

大阪経済事務所

凡例
 卵……級品標準仕入
 プロイラー(中びな) 高値
 親鶏(中親め羽)



平均価格(相当)	卵	35年	34年	阪神地区入荷推定数量	岡山	卵	プロイラー	親鶏	共同出荷実績	経済連	卵	プロイラー	親鶏
		8月	8月			円	円	担		羽	羽	担	羽
	卵	202	218		岡山	930,000	20,000	32,000		経済連	376,000	—	—
	プロイラー	229	163		香川	590,000	32,000	63,000		西大寺	7,000	—	—
	親鶏	183	131		大阪	980,000	54,000	95,000		美作	24,000	—	—
					その他	1,050,000	85,000	158,000		養鶏加工連	—	15,000	—
					計	3,550,000	191,000	348,000		計	407,000	15,000	—

概況

鶏卵 8月も7月同様近年にない安値相場であった。即ち月間平均相場は担202円で前年同期より16円安と低調であった。これは今年の春びなの生産が昨年より2.5割増であることから、昨今の市場へは多量の鶏卵が出回っており、これに消費が追従し得ないことから安値相場をみせている。7月以来極小卵は担15円安であったが、8月20日より30円安と大幅の価格差をみるにいたった。しかし一方ではこの大幅の格差のためそれまで休止状態であった香港輸出が再回されるにいたって極小卵が相当積出されている現況である。8月中に神戸港より香港へ輸出された数量は1.1万ケースで7月より7千ケース減であった。

食鳥 の市況はなかなか活潑で若、古ともに相場は良い。牛豚肉の高騰で肉消費が鶏肉に回っている傾向が強い。